

日本共産党

こんにちは!

いも
お芋の「芋」に
3本「川」でおなじみ

12号

いもかわ

【芋川 ゆうき】です!

住所:目黒区南3丁目在住 TEL:090-4206-2048

ツイッター・facebook 公開中!お問い合わせ ☒ <imokawa007@gmail.com>



↑ 日本共産党目黒区議団主催 専門家の勉強会のようす

増える虐待

子どもの人権が保障される社会に

区内で起きた5歳女児の虐待死事件は悲しみと怒りとともに、「なぜ救うことができなかったのか」と大きな課題を投げかけています。

虐待は、暴力による身体的虐待、性的虐待、子どもの世話を放棄するネグレクト、言葉による心理的虐待があり、ほとんどの場合、複合して起きています。

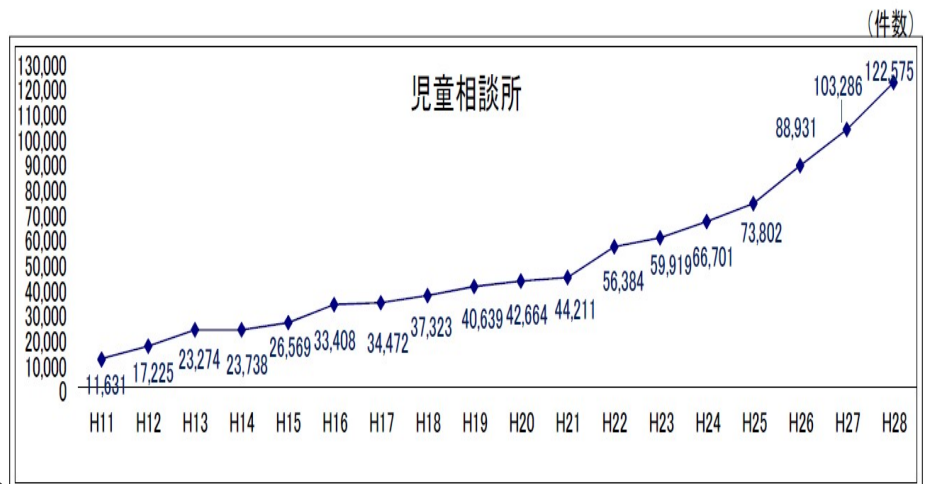
虐待が起きる要因は、加害者の育ち(虐待の連鎖)、家庭の経済状況、子育て支援の乏しいひとり親家庭、地域環境などが指摘され、現在の貧困と格差の拡大が大きな原因にもなっています。2016年度の全国の児童相談所に寄せられた虐待相談は12万2500件以上にのぼり10年前の3倍にもなっています。また、東京では約1万2千件、目黒では

17年度、173件に上っています。

虐待は、子どもの健全な成長発達を脅かし、子どもの心と体に深刻な影響を及ぼし、絶対あってはならないことです。裏面に続く→

※下図 虐待対応状況の推移

厚生労働省「社会福祉行政業務報告」より



※平成22年度は、東日本大震災の影響により、福島県を除いて集計した数値

児童虐待児ゼロの目黒区をめざして・・・

日本共産党目黒区議団の提案

目黒区内の児童虐待死事件を受け、二度とこのようなことが起こらないように、日本共産党目黒区議団は、児童虐待ゼロの目黒区をめざし、次のとおり、早期発見・早期対応の促進や、保護した子どもへの支援と社会的養護体制の整備など、各行政機関に対して提案するものです。

■東京都に対して

- 足りない児童福祉士や児童心理士の増員と職員の育成を図ること。
- 足りない一時保護所の増設を行うこと。
- 自治体の児童相談所設置に向けた財政支援を行うこと。

■目黒区に対して

- 区の児童相談所の開設年度を明らかにすること。
- 児童相談所設置にあたり、外部の学識経験者や関係施設職員などを加えた検討組織をつくること。
- 区独自で専門職の育成を行うこと。
- 子ども家庭支援センターの専門職員の増員と職員の研修体制を拡充すること。

■子育て支援の拡充

- 産前・産後ヘルパー派遣を生後6か月から2歳まで延長すること。
- 子育て相談を24時間体制で行うこと。
- 1歳6か月検診を受診しなかったケースについて、追跡調査を行うこと。
- 子どもショートステイを拡充すること。

生活なんでも相談 8月 予定

8月 7日 (火)

8月 21日 (火)

8月 28日 (火)

※19時-20時です

住所：原町2-22-12

星見てい子事務所

14日 (火) 法律相談は
お休みです

